

塩谷郡市医師会だより

平成11(1999)年12月25日 第10号

社団法人 塩谷郡市医師会 塩谷郡氏家町桜野 1319 番地 3 氏家町保健センター内 Tel 028(682)3518

一年を顧みて

黒須節三塩谷郡市医師会長
1999年も残り僅か、この一年を回顧してみると長くても短い実感です。人の一生など大宇宙現象に比べればほんの一瞬にしか過ぎません。充実した毎日を送りたいと願っても安易に怠惰に過ぎてしまう日々であり、年ばかりが重なってしまいます。

塩谷郡市医師会だより」が発刊され、今年度分は4号からです。種々の記録が残っており歴史を物語ってくれます。この「医師会だより」が皆様のお陰で発行が続けられ、本当によかったと思います。内容は豊富で、総会報告、介護保険、医師会史編集、その他盛り沢山です。投稿者、編集委員、印刷、配布等先生方の御努力に感謝申し上げます。

本年度は行政との関わりが特に深く、地区医師会と行政との連携、ひいては日本医師会と政府が協調し、国民の為の医療を確保し、医療界全般の安定を望んでやみません。

会員の皆様の御健勝、御多幸を祈念致します。

平成11年度第4回役員会報告

(平成11年12月14日午後6時30分～9時)

出席役員(理事・監事) 黒須会長・松村副会長・尾形直・橋本・小林正・斎藤・尾形新・阿久津正美・大野・小林祐・西川・戸村各役員・川原事務長



人事異動

新事務長紹介

川原一太 事務長 (12月1日就任)

理事の辞任

瀧澤弘隆先生(塩谷総合病院院長)

議題

議題(1) 栃木県救急医療情報システムについて

(戸村理事の説明)

各郡市医師会にパソコン(富士通)を配備し、休日当番医の情報を入力することになりました。ワード98、エクセル97、インターネットエクスプローラーはインストール済みです。OSはウィンドウズ95です。

このパソコンを利用して来月からインターネットに接続することを理事会で了承されました。

また、電話機、プリンターの接続を来期に購入するよう会計担当理事へ、要望がありました。

議題(2) 平成12年度の予算編成について

(大野理事の説明)

来年の予算案の骨子について

議題(3) 県医師会長からの要請について

(黒須会長の説明)

良質な医療を確保すべく活躍している武見敬三参議院議員の後援会「敬人会」を栃木県でも設立し、「敬人会栃木県医師部会」を発足することになりました。12月19日設立総会がホテルニューイタヤにて行われます。

来年1月20日午後6時、ホテルニューイタヤで県医師会の新年懇親会が行われます。会費は五千元。参加希望者は、1月11日までに郡市医師会までご連絡してください。

議題(4) 介護保険について

合議体間の差を少なくするよう、介護認定審査会での審査手順マニュアルを作ったらどうだろうか、という話がでました。認定基準時間による介護度はあてにならないので、中間評価項目を重視するよう厚生省も言っていることを反映することが必要であり、高根沢の安達先生のソフトを利用するマニュアル作りが望まれました。

安達先生のソフトは、塩谷郡市医師会ホームページを通して全国的にも使われるようになっているようで、当医師会としても感謝の意を表さないといけないのではないか、という意見も出ました。

議題(5) 中医協の医療実態調査の件

診療報酬改定直後の一昨年9月と6月(診療日数が2日多い、患者数も多い)を比較して、18%も開業医の収益が増加している、という報告を中医協で出しましたが、患者数が増えて、診療日数が多ければ収入が増加するのは当たり前の事です。もっと、年間を通じての、医療経営の実態を調査しなくては行けない、という点を、県医師会を通じてでも抗議していただきたい、と会長への要望が出されました。

(文責・編集部)

『少しばかり早い初夢』 (藪野)

理事会の後、二次会に出かけた。
少しばかりアルコールが入って、転寝をしてしまっ
たらしい。

誰かが、今の医師会事務所が使えなくなったらど
うしよう と心配している声が遠くに聞こえる。

「新しく建てたらいいじゃない」

「そんなお金はないよ」

「前に医師会館設立のための基金を作ったはずだ
が」

「医師会への入会金などもあるでしょ」

「そういう基金は、会員のために使わないとね。やめ
ちゃう人には返してないんでしょ」

「そうだね、全会員が利用できるものに使わなきゃ
ね」

「新医師会館というのはいいな」

「医師会長室は必要でしょうね」

「事務室はどうかかな？」

「産業医センターというのがあるけど、あれは別組織
なんだから部屋を作って家賃をもらおうじゃないの」

「倉庫も作らないといけない」

「倉庫がないので、今までの資料が相当なくなってる
んじゃないの？」

「医師会史の編纂事業は苦労してるらしい」

「いや、資料がないのを口実にさぼってるんだろう」

「会議室も必要だな」

「会議室は総会ができるくらいの広さで、理事会はそ
の一部を区切ってやるというのもいいね」

「ところで、そんなのできるくらいの資金はあるのか
ね」

「あります」

「土地はどうなの」

「ありません」

というところで、正気に戻った。

誰かが、そういう土地なら貸そうじゃないのって、
言ったような気もするのだが、なんだか夢の話なの
で。

正夢にならないかなあ。

新事務長紹介

川原一太(かわはらかずひろ)

・昭和14年2月9日生

・出身地:烏山町

・昭和36年4月足利銀行入行、同
行に38年6か月勤務



趣味:弓道、鮎釣り

一日も早く塩谷郡市医師会の事務処理に精通する
よう一生懸命努力いたします。

栃木県医師会新年懇親会のご案内

日時 平成12年1月20日(木)午後6時

場所 ホテルニューイタヤ

宇都宮市大通り2-4-6

TEL 028-635-5511

会費 一人 5,000円

(当日、受付で領収いたします。)

広報委員会より

1. 医師会だよりについて

今号の発行は第10号になりますが、現在までは、
主に理事会の内容を中心に掲載してまいりました。
今後は広く会員のみならずより記事をご投稿いた
だき、より充実した紙面作りを目指したいと考えてお
りますのでよろしくご協力のほどお願いいたします。

現在は戸村先生が原稿をアップされ、尾形が校正
・印刷を担当し事務局が配布するという手順で行っ
ておりますが、次号からは医師会に設置されるプリン
タを使い印刷する方法に移行したいと考えております。

2. インターネットについて

栃木県救急医療情報システムの設置に伴い医師
会事務所にコンピュータが設置されました。年明けに
はインターネット接続し、事務局からの連絡もメール
による配信が可能となりますので、今後はその環境
整備を進め、将来的には医師会MLの開設も念頭に
置き、来るべき新世紀に向け積極的に取り組もうと
考えています。

3. ホームページについて

本年5月に開設以来、7か月を経過しようとしてい
ますが、現在までのアクセス数は約6700回に達し
ようとしています。これは数ある医師会ページと比較
しましても群を抜いたアクセス数(たぶん、日本一と
言ってもいい)であり、医師会関係、報道関係、地域住
民へのインパクトはかなりのものがあると思います。
しかし、残念ながらコンテンツの整備はいま一歩であ
りまして、特に各医療機関の紹介ページが未整備な
医師団がありますので、これからの課題となっております。

いずれにしろ、この驚異的なアクセス数ののびは
塩谷町医師団の戸村先生と高根沢医師団の安達先
生のご尽力によるところが多めであり、この場をお借
りし御礼申し上げます。

塩谷郡市医師会ホームページ

URL <http://www.tochigi-med.or.jp/> shioya/ EMAIL shioya@tochigi-med.or.jp

編集 塩谷郡市医師会広報委員会編集部

戸村光宏 Tel 0287(46)0022 Fax (46)1232 EMAIL mituhiro.tomura@nifty.ne.jp

池田 斉 Tel 0287(43)7867 Fax (43)0207

尾形新一郎 Tel 0287(45)2222 Fax (45)2223 EMAIL INET:ogataiin@kinugawa.co.jp